

いしおか

1・1

No. 126



提供：石岡まちづくりアカデミーⅢ

主 な 内 容

- 渋滞無縁 B R T P4
- 秋の叙勲 P5
- 産業祭・八郷ふれあいまつり P6
- 手洗いでノロウイルス感染予防 P11
- 生涯学習の集い中央大会 記念講演 P24

鹿島鉄道跡地バス専用 道走るBRTバス

鹿島鉄道跡地を活用したバス専用道が開通し、渋滞の影響を受けない路線バスが運行を開始しました。

平日は石岡駅発着 112 便で、うち茨城空港へは 12 便が運行されています。

謹賀新年



石岡市長

久保田 健一郎

市民の力で

「元氣いしおか」実現へ

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、平成23年の新春を健やかにお迎えのことと、心から喜び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国内経済は厳しい状況下にあり、就職戦線も氷河期と呼ばれる冷え込みが続きました。県内の景気も持ち直しの兆しはあったものの回復には至らず、停滞気味の一年だったと感じております。

そのような中、私どもは「元氣いしおか」の実現に向け、一步一步ではありましたが、歩み始めることができました。

石岡駅を茨城空港の玄関口として位置づけてきたバス専用道整備

事業も、昨年8月に各方面のご協力をいただきながら、なんとか完成することができました。おかげ様で、多くの皆様からご好評をいただいております。

また、市内雇用環境の向上等を目指して進めてまいりました企業誘致では、市役所内に企業誘致推進室を新設して努力いたしました結果、柏原工業団地に新工場が立地の運びとなりました。

子育て分野におきましては、統合保育所であるやさこ中央保育所も、子どもたちの笑顔あふれる施設として皆様に喜んでいただいております。また、学童保育の6年生までの対象年齢拡大につきまして、昨年10月から一部の小学校で実現することができました。他の小学校でも、順次実施していく方向でございます。

これらはほんの一例ですが、いずれも市民の皆様のご理解とご協力があったこそ実現できた事業であります。皆様には、心からの感謝を申し上げます。

来る23年度予算編成は、歳入の減が見込まれる中で大変厳しい

状況にはありますが、「最少の経費で最大の効果を挙げる」という自治体運営の基本を踏まえ、経費の節減合理化を図ってまいります。さらに「元氣いしおか」の効果的な実現を図るため、市民の皆様の声、そして現状分析により各事業の精査を行い、重点的に取り組む事業を選定する「リーディングプロジェクト」制度を創設いたします。この制度を通じ、事業の選択と集中を、より一層皆様のお考えに沿ったものにすると考えております。

今年も私どもは、石岡が元氣あふれる街になるよう全力を傾注してまいります。しかしながら、「元氣いしおか」は、私や市職員、関係諸団体員だけで実現できるものではありません。街の元氣は、市民の皆様の元氣を結集することで生まれてくるものと考えます。皆様には、今年もまた市政に対し、力強いご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、今年が皆様にとって幸多き年でありますことを心よりお祈り申し上げます。



石岡市議会議長

前 島 守 雅

「明日の石岡を 市民の皆さまと共に」

新年明けましておめでとうございます。
います。

市民の皆様には、輝かしい新春を
健やかにお迎えのことと心から
お喜び申し上げます。

議長に就任いたしましたして2度目
の新春を迎える中、石岡市の発展
に向け、議員一同が気持ちも新た
に、議会に求められる役割を果た
してまいる所存でございます。

昨年は、参議院議員選挙による
「ねじれ国会」が、地方へも少な
らず影響を与えた年でありました。
また、尖閣諸島における中国漁船問
題や北朝鮮による韓国領土への砲
撃、北方領土へのロシア大統領訪問
など、日本が国際的な緊張に揺れた
一年であったように思います。

また、突然のTPP交渉問題に
より日本の農業が大きく揺れてお
ります。農業算出額全国第2位を
誇る茨城県内にあり、とりわけ豊
かな実りに恵まれた本市において
は、国の動向に注目しつつも、地
産地消さらには本市農産物のブラ
ンド化等への取り組みを強化すべ
きと考えております。

景気動向については、円高ドル安
が一気に進み、立ち直りつつあった
日本経済、特に輸出産業への打撃が
大きく響きました。願わくば、国際
的な緊張緩和が進み、日本経済の立
ち直りに向けた光が少なからず差
し込む事を願いたいと思います。

そうした中、本年は地方選挙の
年でもあります。多くの地方議会
で改選の年を迎え、石岡市も4月
には市議会議員選挙を実施する予
定であり、議員定数は現在の26名
から2名減の24名となります。

当市における嬉しいニュースと
しまして、昨年末の工業団地への企

業誘致実現報道や本年春に予定さ
れていますスマートインターチェ
ンジ完成などがございます。今、
地方分権時代を迎える中、愛して
やまないふるさと石岡を、市民の
皆様との協力のもとに築いていく
で「自己決定」「自己責任」のまちづく
りが求められております。皆様の貴
重な声を確実に市政に反映できま
すよう、議員個人はもちろんのこと、
議会活動に対する関心をより一層高
めていただきますようお願いするも
のでございます。

今年の干支は卯でございます。
ことわざに「うさぎの上り坂」と
あるように、良い方向に進む躍動
感ある生き物とされている「うさ
ぎ」にあやかり、私たちの生活に
も光明が差し、良い方向に進むこ
とを切に願うものです。

結びに、本年が皆様にとりまし
て素晴らしい年となりますよう
ご祈念申し上げ、新春のご挨拶と
いたします。



鹿島鉄道跡地を活用したバス専用道が8月30日に開通しました。

沿線の市民や企業、高校生などの移動手段として利用され、運行開始後の10月の利用者数は1日平均約860人（平日の石岡駅～小川駅間）でした。開通前まで国道355号を運行していた代替バスと比べ、利用者が約70人増加しています。

お得な割引制度もあるので通勤・通学や買い物などにぜひ利用ください。

渋滞無縁！

BRT

バス高速輸送システム

鹿島鉄道跡地バス専用道
BRTバスの便利な割引制度

かしてつバス1日フリーきっぷ

土・日・祝日限定。1000円でフリー区間を乗り放題！

フリー区間拡大と親子割引でさらにお得に利用できます。

沿線の観光やお子さんの記念乗車にぜひ利用ください。

1 発売日

土・日・祝日および12月30日～1月3日

2 通用期間

発売当日限り有効

3 フリー区間

石岡駅～小川駅～玉造駅～鉾田駅および小川駅～茨城空港

4 価格 大人1000円

（小児運賃の設定はありません）

5 親子割引 大人1名につき同伴する小児2名まで無料

※大人は、中学生以上
小児は、小学生以下

かしてつバス1日フリーきっぷ



茨城空港ダブルチケット

茨城空港ダブルチケット

2枚つづり回数券

通常より200円お得！

茨城空港への利用にお得です。

1 区間

石岡駅～茨城空港間

※途中下車はできません。（ただし、小川駅のみ乗り継ぎ乗車できます）

2 価格 大人1000円

（小児運賃の設定はありません）

ただし、大人券1枚を小児2名で使用できます。

回数券

通常より1割分お得！

普段の利用には、お得な各回数券もあります。

1 金額式回数券（営業所のみ販売）
同じ運賃区間で利用できます。

2 冊式回数券
組み合わせにより、複数の運賃区間で利用できます。



冊式回数券

金額式回数券

● 割引乗車券発売所・問い合わせ
関鉄グリーンバス(株)

・石岡営業所

☎22・3384

・鉾田営業所

☎0291・33・3181

・バス車内（該当路線運行車のみ）

● 問い合わせ

企画課 ☎23・1111

（内線237）



瑞宝双光章 (警察)
袖山 右京
(元警視正)



瑞宝单光章
佐藤 きよ子
(元土浦厚生病院看護助手)



瑞宝双光章
猪膝 重之
(元航空自衛隊中部航空警戒管制団第27警戒群司令)

危険業務従事者叙勲

秋の叙勲



秋の叙勲

平成22年秋の叙勲、危険業務従事者叙勲において、石岡市から次の方々が永年の功績により栄誉に輝きました。(順不同・敬称略)



《叙勲》

● 瑞宝章

(ずいほうしょう)

国家または公共に対し功労のあつた方で、公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた方に授与されます。

● 危険業務従事者叙勲

警察官、自衛官など著しく危険性の高い業務に精励した方に対する叙勲です。



▲鈴木支社長 (左)

東京電力(株)土浦支社 が防犯灯を寄贈

11月19日、東京電力株式会社土浦支社(鈴江正典支社長)から、安全・安心なまちづくりに役立てて欲しいと今年も防犯灯が寄贈されました。
この日、市役所を訪れた鈴江支社長から市長に目録が手渡されました。



▲左から平沢紀美恵さん、中村喜代さん、小貫妙子さん、中島支部長

石岡地区女性ドライバー友の会 石岡支部 交通・遺児育英基金に 寄付

11月24日、石岡地区女性ドライバー友の会石岡支部(中島三枝子支部長)から、石岡地区交通安全対策推進協議会の交通遺児育英基金に、産業祭でのバザー収益金の一部5万円が寄付されました。
この基金は、交通事故で親を亡くした子どもたちの育英資金として役立てられます。

日本アルコール産業(株) インフルエンザ予防に 手指消毒剤を寄贈

11月25日、日本アルコール産業株式会社(梶間俊明代表取締役社長)から、手指消毒剤(1000ml)5000本が寄贈されました。

これは、市内施設のインフルエンザ予防対策に役立てて欲しいと寄贈されたもので、日本アルコール産業株式会社鹿島工場の高橋衛工場長が市役所を訪れ、市長に目録を手渡ししました。
寄贈された消毒剤は、市役所ほか、市内施設の出入口に設置されました。

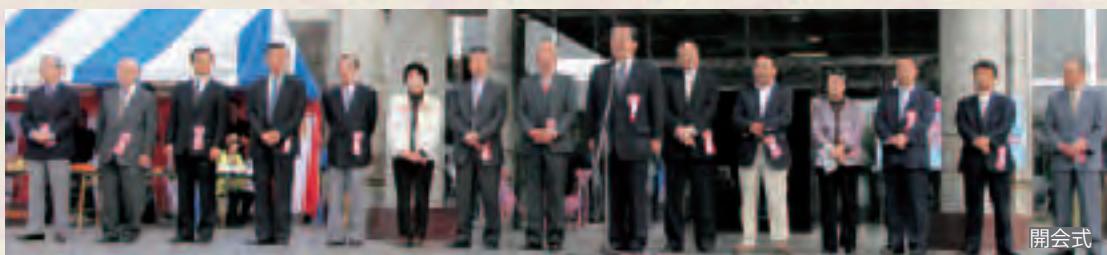


▲高橋工場長(左)



にぎわった産業祭

米まつり・消費生活展も同時開催



開会式



体育館メインアリーナ

10月16・17日、石岡運動公園で第37回石岡市産業祭、第32回米まつりと第40回消費生活展が同時開催され、2日間で7万7000人の家族連れなどが訪れ、にぎわいました。

体育館メインアリーナでは、柏原工業団地内企業による有料の大抽選会、市内企業の家電製品・縫製品・畳・布団・桐製品などや、獅子頭・清酒・工芸品・味噌・乳製品など、石岡の特産品が展示販売されました。



展示販売の様子

また、ボランティアサークルのパネル展示や、小物づくり・体脂肪測定などの実演とチャリティーバザーも行われました。



パネル展示や実演

体育館わきの特設会場では米まつりが行われ、新米・野菜・花木・日用品の販売が行われました。また、おにぎり・豚汁・ポン菓子や餅の試食には、順番待ちの長い行列ができました。



米の引き換え

体育館前広場では、和洋菓子・屋台料理・手打ちそば・衣料品・陶芸品などを販売する安売市が開催されました。



安売市

体育館サブアリーナでの「それ行け！アンパンマンショー」や「おさるのショー」は、子どもたちに大人気でした。



アンパンマンショー



おさるのショー

マイ箸^{はし}を持参して、イベント会場で割り箸を辞退すると燃えるごみ専用袋と交換できる「割り箸いらないよ！運動」も好評でした。

3000 人がステージショーを楽しむ

八郷 ふれあい まつり

子どもフェスティバル

水前寺清子歌謡ショー

エレクトーン演奏

キッズダンス

抽選会

ビンゴ大会

天装戦隊ゴセイジャー

富田町ささら囃子

片野排禍ばやし

よさこいソーラン



10月31日、八郷総合運動公園を会場に第21回八郷ふれあいまつりと第5回石岡市子どもフェスティバルが開催されました。

当日は台風14号による荒天で、芝生広場、多目的広場での模擬店や直売などの屋外イベントはすべて中止となり、各ステージショーのみ公園内の体育館で開催されました。

富田町ささら囃子や片野排禍ばやしの郷土民俗芸能や、よさこいソーラン・キャラクターショー・水前寺清子さんの歌謡ショーなどが披露されたり、抽選会・ビンゴ大会も行われました。

訪れた3000人の観客は、秋の一日を楽しみました。



まちの 話題 できごと

おしゃべりコンサートinやさ
茨響創立50周年記念演
奏会に360人が来場

11月20日、中央公民館でお
しゃべりコンサートが開催さ



▲ソプラノ歌手の町田由美子さん、指揮の井口聖一さん（写真中央）

れ、360人が訪れました。

今年は、茨城交響楽団の創立
50周年記念演奏会で、指揮に井
口聖一さん、ヴァイオリンに川
又明日香さん、ソプラノ歌手の
町田由美子さんを迎えてのコン
サートでした。

ヴァイオリン協奏曲や『カル
メン』などのほか、『美女と野
獣』『ライオンキング』のメド
レーなどディズニー音楽も演奏
され、音楽にあわせてリズムを
取る姿もみられました。

最後に、会場に訪れた人と一
緒に『故郷』を歌い、演奏会が
幕を閉じました。

来場者から「茨城交響
楽団の演奏を身近な場所
で聞くことができてよ
かった」「楽器の紹介が
ためになった」などの声
が寄せられました。

献上柿の審査会 を開催

11月16日、皇室に献上
する富有柿を選ぶ審査会
が、八郷総合支所で開催
されました。



▲献上する柿を選別する生産者ら

今年の献上は、石岡市八郷柿
振興協議会（塚谷一雄会長）に
加盟する十三塚地区と上曽地区
の生産者が担当しました。

今年は、天候の影響で全体的
に小粒だったため、生産者らは
基準を満たす柿を集めるのに苦
劳しました。

審査会では、生産者のほか、
市長や塚谷会長らが参加して、
生産者が持参した富有柿から一
箱24個で三箱分の柿を選別し、
ネットで包んで桐の箱に納めま
した。

箱詰めされた柿は、17日に市
長と生産者らで、宮内庁と東宮
御所に届けました。

発明クラブが産業祭で 市のおみやげ品を発表

石岡少年少女発明クラブ（磯
山邦良会長）が、(社)発明協会主
催の「地域アイデア創作教室」
に参加しました。そこで与えら
れたミッシヨンは、『石岡市が
有名になれるよう、みんなに喜
ばれるすてきなものを考えよ
う』です。

ミッシヨンを果たすため、ク
ラブ員は、5月8日に市が誇れ
るものについて考え、6月12日
には、市を有名にするためのお
みやげ品などを考えました。第
3回の7月10日には、考えたも
のの模型を紙粘土などで作りま



▲産業祭会場（石岡運動公園体育館内）

した。第4回は、10月16日、17
日に開催された市の産業祭で、
これまでの成果を展示・発表し
ました。

市民サイクリング大 会に33人参加



▲サイクリングを楽しむ参加者

11月13日、市民サイクリング
大会が開催され、33人が参加し
ました。

参加者は、さわやかな秋風の
中、紅葉の景色を眺めながら、
サイクリングに汗を流しました。
小幡の十三塚で柿狩りやリン
ゴ狩りを楽しんだ後、昼食には
手打ちそばを味わいました。

参加した人たちは、友人や家
族と秋の一日を満喫しました。

八郷地区で合同七五三 祝の会を開催

11月14日、中央公民館で4月に小学校に入学する193人の児童とその保護者らが招かれ、「八郷地区合同七五三祝の会」が開催されました。

式典では、教育長をはじめ、市長や議長からお祝いの言葉が贈られました。

その後、代表者2名に教育長から記念品が贈呈されました。

最後に、アトラクションとして吉生小学校の4～6年の児童

によるお祝いの演奏が披露されると、会場からは大きな拍手が送られました。

式典終了後には、秋空の下で各地区に別れ、子どもたちは千歳飴^{とちあめ}を手に、記念撮影を行いました。

ふれあいの里石岡

TBG場増設記念交流 大会に156人参加

11月14日、ふれあいの里石岡のターゲットゴルフ場で、親善大会並びにふれあいの里TBG場増設記念交流大会が開催され、156人が参加しました。

この大会には、市はもとより近隣市町村の愛好者団体も大勢参加して、盛大に行われました。

開会式終了後、参加者はグループに分かれてプレーを開始しました。親善交流大会のため、参加者は楽しそうにプレーし、会場のあちらこちらに歓声や笑い声が響いていました。



▲和やかな雰囲気の中でプレーする参加者

商工祭に3万人の人数

好天に恵まれた11月7日、いしおかイベント広場で商工祭が開催され、3万人が訪れました。

毎年恒例のひかり保育園とばらき台幼稚園の鼓笛隊演奏では、園児らがマイケルジャクソンのナンバーを披露し、見物客から大きな拍手が起きました。

特設ステージでは、石岡一高生による「いしおか恋瀬姫サンバ」や、仮面ライダー電王ショーなどのほか、茨城空港の開港を記念してチャンゴ（韓国太鼓）の演奏も披露されました。また、「石岡フルーツスイーツコンテ

スト」の表彰式も行われました。地元食材を使った石窯ピザや商店会の抽選会、エアートランポリン竜太には、順番待ちの長い列ができました。



▲路上で行われた江戸紙切り



▲チャンゴ（韓国太鼓）の演奏を楽しむ来場者

7千人が訪れ柿岡城 まつりがにぎやかに

穏やかな日となった11月14

日、柿岡商店街で商工業祭「第22回柿岡城まつり」が開催され、7000人が訪れました。

江戸紙切りやあめ細工など大道芸人によるパフォーマンスに、訪れた人たちも思わず足を止めて見入っていました。

メインステージでは、天装戦隊ゴセイジャーショーやキッズダンスショーなどが行われ、子ども連れなどでにぎわいました。路上では、柿の種飛ばしや納豆早食いなどイベントも盛りだくさん。また、模擬店も多数出店し、終了前に売り切れる店もありました。多くの人が集まった餅まきでは、餅がまかれるたび大きな歓声が上がりました。

❖ 1月15日～21日は『防災とボランティア週間』です❖

あの日を忘れない！

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災は、6400名を超える尊い命を奪いました。この災害を通して、私たちは日ごろからの地域活動や自主的な防災活動の重要性、ボランティアの意義について学びました。

このことを忘れないように、国では毎年1月17日を「防災とボランティアの日」、1月15日～21日の一週間を「防災とボランティア週間」としています。家庭や地域で、防災とボランティア活動などについても一度考えてみましょう。

防災一口メモ③

「自助・共助力」を強化しよう

阪神・淡路大震災では、建物の下敷きになるなどして脱出困難者約3万5000人のうち67%は自力・家族、30%が友人・隣人によって助け出されました。救助隊や自衛隊などの防災関係機関による救出割合は、2%にも満たない状況でした。地震による犠牲者の多くは、地震発生直後の建物倒壊や家具の転倒によるものです。このた

め、地震直後の災害から身を守るためには、自ら守る「自助」はもちろん、近所の人々が助け合う「共助」が極めて重要です。一方、消防機関などが救出や消火活動を行う「公助」は、震災の規模が大きくなるほど、市民一人ひとりに対する初期対応が困難になります。

このようなことから、私たちが自身が「自分の身は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」の考えを持ち、日ごろから地域のつながりを深め、地域活動や研修会などに参加して災害に備えることが必要です。

人権ア・ラ・カルト⑩

本人の更正意欲と周囲の理解が大切

＝刑を終えて出所した人＝

刑を終えて出所した人の人権にも配慮する必要があるとあります。刑を終えて出所した人であることを理由に、就職をはじめ社会復帰の機会から排除することは、人権にかかわる問題です。

「人権教育・啓発に関する基本計画」でも、「家族、職場、地域社会など周囲の人々の理解と協力が欠かせないことから、刑を終えて出所した人に対する偏見や差別意識を解消し、その社会復帰に資するための啓発活動を今後も積極的に推進する必要がある」としています。

※人権課題について、今後も随時紹介していきます。

●問い合わせ

生涯学習課

☎ 43・1111

(内線1231)

●問い合わせ

総務課 ☎ 23-1111 (内線 255)

1月21日

◆防災啓発研修会を開催◆

地域の防災リーダーを育成し、防災力向上を図ることを目的とした研修会を開催します。

自治会や自主防災組織などを対象に、防災の専門家を講師に招いて、二つの講演を用意しました。

入場は無料ですので、自治会や防災関係者はもとより関心のある人は、ぜひ参加ください。

【日時】 1月21日 (金) 午後1時～4時10分

【会場】 中央公民館 (八郷総合支所隣り)

【内容】

① できることから始めよう

～災害時要援護者の防災力向上をめざして～

・講師：危機管理教育研究所 代表 国崎 信江氏

② 豪雨による土砂災害・洪水への

備えについて (仮題)

・講師：群馬大学大学院

工学研究科教授 片田 敏孝氏



感染予防の基本は「手洗い」

石けんで30秒以上洗いましょう。
※アルコール消毒だけでは、あまり効果はありません。

両手のひらをよくこすりましょう。



1

手の甲もよくこすり洗いましょう。



2

指先はとくに入念に洗いましょう。



3

指の間もくまなく洗いましょう。



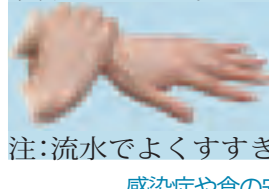
4

親指と手のひらもていねいに。



5

手首も忘れずに。



6

注：流水でよくすすぎましょう。

感染症や食の安全に関する情報を見ることができます。

いばらき食の安全

<http://www.shoku.pref.ibaraki.jp>

県保健予防課

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/hoken/yobo/yobo.htm>



手洗いでノロウイルス感染予防

●問い合わせ 健康増進課 ☎ 24-1386



冬はノロウイルスが流行します。ノロウイルスは、口から体内に入り感染します。日ごろから、外出後、調理前、食事前、トイレ後などには、必ず石けんで手を洗う習慣を身につけ、感染を予防しましょう。また、二次感染を防ぐため、患者のふん便やおう吐物の処理には、使い捨ての手袋やマスクを着用するなど十分注意をしてください。

感染の原因

① ウイルスに汚染された二枚貝などを、生あるいは十分に加熱しないで食べた。

② 食品を取り扱う人（家庭で調理を行う人も含まれます）が感染していて、その人を介して、ウイルスで汚染された食品を食べた。

③ 患者のふん便やおう吐物から二次感染した。

※家庭や共同生活施設など、ヒト同士が接触する機会の多いところでヒトからヒトへ直接感染するケースも多いと言われています。



感染すると？

潜伏時間（感染してから発症するまでの時間）は約12時間から48時間です。主な症状は吐き気・おう吐・下痢・腹痛で、発熱しても軽度です。

これらの症状が一日から二日続いた後に治り、後遺症はありません。感染しても発症しない場合もあります。

なお、ノロウイルスは何度も感染します。

症状が消えても数日から1か月近く、ウイルスがふん便とともに排泄されます。

※子どもや高齢者など抵抗力が弱い人は、特に注意が必要です。



感染の予防や拡大を防ぐ方法

① 石けん（液体石けんがおススメ）で手をよく洗う。

※外出後、調理前、食事前、トイレ後には、必ず石けんでしっかりと手洗いする。

② 患者のふん便やおう吐物には、直接触れずに使い捨ての手袋やマスクなどを着用して処理する。

③ 汚染された場所や衣類などを消毒する。（塩素系消毒剤が有効）

④ カキやアサリなど二枚貝の加熱調理（食品の中心部で85℃以上で1分以上）を徹底する。